



年 組 名前

# 道新 ワークシート

## 防災情報 スマホに発信

### 羽幌町 4月から新システム

【羽幌】町は、地震や津波、台風などの災害が発生した際、町民に情報を伝える「防災infoはぼろ」を4月1日から導入する。従来のスピーカーを通じて放送では、風が強い日などには聞こえないなどの問題があった。新たなシステムでは、住民のスマートフォンなどに情報を届ける。導入に先立ち、2月から試験運用を始める。（広瀬浩二）

### 来月から試験運用

防災infoはぼろは、携帯電話の電波を活用した防災情報伝達システム。全国瞬時警報システム（Jアラート）から出される国民保護情報や緊急地震速報、気象の特別警報、町が出す避難情報などを、町役場総務課内のパソコンから発信し、スマートフォンや従来型の携帯電話に配信する。

町にはこれまで、防災無線システムはなかった。防災情報は、町が準備した原稿を北留萌消防組合消防署が読み、スピーカーを通じて放送してきた。しかし、風の強い日は聞きづらく、室内では聞こえないなどの課題があり、町は昨年4月から、新システム導入に向けて準備してきた。

新システムの総事業費は1億7800万円。利用には、スマホでは専用のアプリをインストールする必要がある。従来型携帯電話ではメールアドレスを登録する。アプリのダウンロードとメールアドレス登録は2月中旬以降、可能になる。世帯全員がスマホや従来型携帯電話を持っていない世帯には、町が個別受信機を無償で貸し出す。

町総務課は「羽幌ではこれまで大きな災害は発生していないが、多発する異常気象による災害などに備え、迅速で確実な情報を伝えたい」としている。町は住民説明会の開催を予定しており、今後、日程を記したチラシを全戸配布する。

2021年1月27日（水）朝刊 地方（留萌・宗谷） 15ページ（記事は一部再編集しています）

- ① 「防災infoはぼろ」は、どのようなときに情報を伝えるシステムですか。
- ② 「防災infoはぼろ」の情報を受信するには、どのような機材が必要ですか。
- ③ 「防災infoはぼろ」のシステムが使われることによって、羽幌町民にとってどんなよさがありますか。